甲斐市立竜王北中学校生徒指導通信　No.5　　2018/06/4

自学感動

文責：生徒指導西海

勝つことはすべてではないが・・・

中間テストが過ぎ、「部活強化週間」に向かう今、改めて部活動について考えてみたいと思います。

たいていの部活動は、常に何かと「競う」ことを目的としています。それは優勝であったり、次の大会出場であったり、記録だったりします。そういう意味では部活動の目標はとてもシンプルです。ただし「勝ち」にこだわりすぎると話題になった、アメフト部のように、相手をケガさせたり、卑怯な方法を使おうとしたりしがちです。もしそうだとしたら「勝つ」ことに意味などありません。

では勝敗などどうでもいいのかというと、それもまた違うのです。以前にも紹介した『一流の育て方』では、こう書かれています。**「『怠けてもいい』『他人より優れていなくても当たり前』という負け癖を持つか、『少しでも上を目指して常に向上心を持って努力する』という習慣を持つかは、一生を左右する。」**

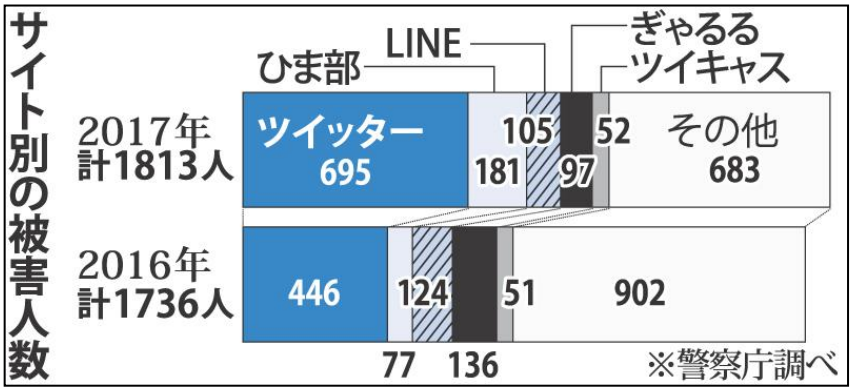
どうでしょうか。総体は、「全中」につながる中学校の最大の大会であり、体育部の最大のイベントです。三年間の部活動はこの大会のためにあるといってもいいでしょう。この大会にすべて勝つことは、全国でも優勝校の一校のみであり、(ちなみに昨年度まで本校に勤務していたクインビーズの岩崎先生はそれを成し遂げたそうですが)現実には不可能に近い至難の業です。

学校で職員が君たちに部活をがんばらせようとするのは、優勝してプロスポーツ選手になってもらいたいからではなく、**君たちにつらいことや苦しいことをこえて、上を目指そうとする心構えを身につけてほしいからです。**実際、職業高校で部活動を頑張った生徒に大手企業からの求人がくるのは、こうした「向上心」や「忍耐力」が就職後も役に立つと考えているからなのです。**(野球部で活躍した君たちの先輩たちは、高校卒業後に中々就職できないような大企業に就職しました。)**

アメフトのおかしな指導の一件から、「厳しいことに耐える」ことにまで批判が向けているような報道があります。今君たちがやっているスポーツは、その後の人生においても君たちを楽しませてくれるかもしれませんが、『アスリート(競技選手)』として過ごす時間は、これが最後になるのかもしれません。振り返ったときに、困難に打ち克った思いや、チームで乗り越えたピンチ、共に励ましあった仲間が、君たちの人生の財産となるはずです。**最後の一瞬までがんばれ北中！**

ネットによる犯罪被害について

子供のＳＮＳ被害最多



インターネットで交流するソーシャル・ネットワーキング・サービス（ＳＮＳ）を使い、２０１７年に犯罪に巻き込まれた１８歳未満の子供は１８１３人（前年比７７人増）で、５年連続で最多を更新したことが警察庁のまとめで２６日、明らかになった。【内橋寿明】

被害者の９６％は少女で、年齢別では多い順に１６歳４４７人▽１７歳４１７人▽１５歳３８８人▽１４歳２７７人▽１３歳１９７人。１２歳以下も８７人いた。１３歳（前年比２９人増）と１５歳（同６５人増）が増加傾向にあり、自画撮り被害が増えたことが影響したとみられる。

最年少の被害者は８歳の少女で、容疑者がユーチューブで公開していたアニメ動画をきっかけにＳＮＳでやり取りするようになり、裸の写真を送信させられた。

被害に遭った子供が最も多く利用していたのは、短文投稿サイト「ツイッター」で６９５人（前年比２４９人増）。次いでチャット型交流サイト「ひま部」１８１人（同１０４人増）▽無料通信アプリ「ＬＩＮＥ」１０５人（同１９人減）――などだった。

◇ＳＮＳ上の犯罪から身を守るためにできること

□書き込まない

□掲載しない **氏名や住所、学校名などの個人情報、自分や友達の写真を安易に載せない**

□会わない

ネット上では別人になりすまし、言葉巧みに信用させようとする人がいるので、サイトで知り合った人とは会わない

2018　4/26(木)　毎日新聞

防犯ブザーを持っていますか?

小学生などが関連する、痛ましい犯罪が連日報道されています。防犯ブザーは持っているでしょうか。電池は入っているでしょうか。持っていればいいというわけではありませんが、ぜひ確認しておいてください。自分を守ってくれるのは、最後は自分です。

本当に無関係だと思っていますか?